リスクと機会ESGマテリアリティ/

リスクと機会

当社グループは、全社横断的にリスクマネジメントシステムを実践して、潜在リスクを予測するとともに、事業継続に必要 なリスク対策に適切に対応し、安定した事業運営を行います。

三和ホールディングス代表取締役社長を議長とする「サステナビリティ委員会」を設置し、リスクマネジメント推進専管組織として、当社 グループのリスクマネジメントの基本方針、リスクマネジメントに関する計画、施策の進捗状況の報告・審議を行っています。

また、主要なリスクを「ものづくり」「環境」「人」「グループの経営基盤」に区分し、それぞれのリスクおよび機会に応じてその対応策を講じ ています。

なお、リスクの詳細は、有価証券報告書の【事業等のリスク】に記載しています。

主なリスクと機会とその対応

ESGテーマ	ESGマテリアリティ	リスクカテゴリー		主なリスクと機会	対応策
ものづくり	商品、サービスを 通じた気候変動・ 防災への貢献	大規模災害リスク		 大規模災害(台風・集中豪雨・地震等)による事業活動継続の危機 気候変動対応(適応)商品、防災商品(防火、防煙、高耐風圧、防水)の提供による収益機会の増大 →P.36参照 	・安否確認システムの導入・事業継続計画(BCP)の策定・気候変動対応商品、防災商品の開発、提供
		感染症リスク		 感染症長期化に伴う営業機会損失リスク(工事延期・中止等の業績影響) 感染症蔓延(パンデミック)、クラスター発生による事業活動継続の危機 抗菌対応商品、非接触商品等の提供による収益機会の増大 	感染症対策の強化抗ウイルス商品、非接触商品等の 開発、提供
	品質の確保・向上	品質リスク	製造品質	不具合商品出荷に伴うクレームの発生による信用低下とコスト増加 生産設備の老朽化に伴う品質精度の悪化 製造人員(協力業者含む)の不足 生産効率の低下等による品質劣化 クレーム対応の遅延による信用失墜 爾金 商品の差別化による収益機会の拡大	品質チェック実施と出荷前検査 の強化 設備の更新、生産技術の継承 生産ラインの自動化、ロボット導 入による省人化と生産力強化 トレーサビリティ体制の強化
			施工品質	取付工事力不足および施工技術力低下によるPL事故・クレーム発生 や納期遅延による信用失墜とコスト増大 施工技術改善遅れに伴う競争力の低下によるコスト増大 横全 省施工商品の差別化による収益機会の拡大	施工技術者の採用拡大施工研修の強化安全・省力化の施工技術の研究
			設計品質	設計人員不足による納期遅延 設計員の経験不足による対応力・品質低下	●最新設計システムの導入による 業務効率化の推進 ●開発部門との連携強化
			営業品質	営業員の商品知識不足、現場対応力の弱体化に伴う打合せミス、クレーム(約束不履行)等発生による信用失墜によるコスト増大 関金 ソリューション提案営業による収益機会の拡大	新入社員研修の強化 営業スキルアップ研修の実施
			点検品質	定期点検未実施による事故発生 FTSの対応の遅れによる信用失墜 議会 点検制度法制化の拡充によるメンテナンス・サービス事業拡大	・保守点検の契約締結の推進・点検後の修理と取替等の提案・既設商品のデータベース化・FTS体制の強化
		研究開発リスク		 先進技術(素材含む)を使った商品開発の遅れ 他社との差別化の遅れによる競争力の低下(施工合理化、商品サービス適用、商品改良不足等) 画期的技術の開発による成長機会獲得 	顧客ニーズの情報収集および労進技術力・開発力の強化気候変動対応、IoT対応、防災減災商品の開発
		原材料価格・調達リスク		・原材料価格高騰、品薄・調達価格高騰等による業績悪化・購買先の原材料不足等による主要部品、部材の調達難・急激な需要の変化による余剰在庫の発生や、調達難による出荷の停滞	製造原価の調整とコストダウン販売先との価格交渉複数購買による仕入先のリスク 分散化
		生産・物流リスク		納期集中による遅延高齢化によるドライバー不足作業環境未整備による生産性の悪化	納期管理システムの活用 配車管理システムの活用
		労働災害リスク		製造現場での事故による製造労災施工現場での事故による施工労災	 製造作業マニュアル等の整備、3 全教育の実施、安全装置による 作業環境の改善 施工作業マニュアル等の整備、3 全教育・安全衛生定例会議等での安全作業の周知徹底

ESGテーマ	ESGマテリアリティ	リスク	カテゴリー	主なリスクと機会	対応策
環境	脱炭素社会へ 向けた取り組み	環境・気候変動リスク		 環境関連法規制への対応遅れによる企業イメージ・信用の失墜 温室効果ガス排出規制等への対応不足による信用失墜と、対応コスト(材料費、炭素税等)の増大 気候変動対応(緩和)商品の拡充による成長→P.36参照 気温上昇に伴う、製造・施工現場での品質低下、効率悪化、事故発生による信用失墜 	 「三和グループ環境方針」に基づいた環境保全活動を実施 サステナビリティ委員会で気候変動リスク対策を検討、実施 CO2削減目標の設定と達成に向けた取り組み実施(エコカー、LED化、太陽光発電導入等) TCFD提言へ賛同表明(P.32参照) 気候変動対応(緩和)商品の開発、提供 工場内環境整備の実施
	水資源の保全			・水使用量の削減目標未達による信用失墜	●削減目標を設定し、取り組み実施
	廃棄物の削減			産業廃棄物の削減目標未達による信用失墜廃棄物、リサイクル関連の処理方法等の法令違反による信用失墜	●削減目標を設定し、取り組み実施●廃棄方法を徹底し法令遵守を励行
<u>۸</u>	人権の尊重	人権リスク		業務関連の人権侵害に伴うレピュテーション、訴訟等による信用低下ハラスメントによる職場環境の悪化による士気低下	人権デュー・デリジェンスの実施コンプライアンス研修の実施
	人材育成			業務部門ごとの適正人員不足(採用の遅れ)による業務 効率低下有能な人材の流出等のリスク	新卒採用および中途採用の促進人材育成(スキルアップ/採用、定着)のため、体制を強化
	ダイバーシティの 推進	人材リスク		多様性への取り組み遅れによる雇用への悪影響、ステークホルダーからの信頼低下	女性社員の積極的な採用、配属職種の拡大、キャリアアップ研修実施 職能等級制度や人事評価制度の見直しによる若手人材の登用 育児休職制度、テレワークや有給休暇取得推進による働きやすい職場への改善を推進
	安全と健康	人事労務リスク		従業員の安全と健康の管理不足過重労働に伴う集中力低下でのミスロス発生、業務効率 (生産性)低下36協定違反による信用低下等メンタル不全を含む健康被害	労働環境の整備 労働時間管理システムの導入 計画的有休取得の拡充 メンタルヘルス制度の導入
グループの経営基盤	コーポレート・ ガバナンス	経営リスク	自然災害・ 感染症リスク		(大規模災害リスク参照)
			地政学リスク	●海外進出地におけるテロや暴動、戦争や紛争等の発生、 法規制等	●地政学リスクのモニタリング、調 査、海外駐在員からの情報収集
			経済動向リスク	●景気後退に伴う需要減少による業績悪化、為替・金利変動影響、資金調達リスク等	通貨スワップ、為替予約等のヘッジ対応 資金調達先の分散化
			財務・会計・投資等 関連リスク	得意先の経営破綻による倒産、事業廃止による不良債権、貸倒損失発生等財務、会計、投資関連等のリスク	● 与信管理の徹底
		コーポレート・ ガバナンス関連リスク		• ガパナンス体制不備による信用失墜	●取締役会実効性評価アンケート ●指名報酬委員会の設置 ●ボードダイバーシティの取り組み
	コンプライアンス	コンプライアンス リスク	不正・不祥事・法令違反リスク	内部統制未整備による信用失墜不正・不祥事、法令違反、社内規定違反等による問題 発生で信用失墜、法改正等の対応遅れ等の違反	「コンプライアンス行動規範」を原則とした企業風土の酸成 コンプライアンス研修の実施 内部通報制度の導入 社内監査の徹底による不正会計、不正受注の撲滅 「贈収賄ガイドライン」による不祥事予防の体制強化
			交通事故リスク	交通事故の人的被害による業務低下と損害賠償の増大 飲酒運転による信用失墜	営業車両への安全装置の装備拡大アルコールチェック体制の導入飲酒運転撲滅運動の実施
		情報セキュリティリスク		サイバー攻撃による機会損失と信用失墜および再開コストの増大情報漏洩発生による信用失墜	 「情報セキュリティポリシー」に基づく三和グループ情報管理体制によるサイバーセキュリティリスクへの対応 ●IT-BCPの構築 ●システム使用制限(特権ID)の徹底